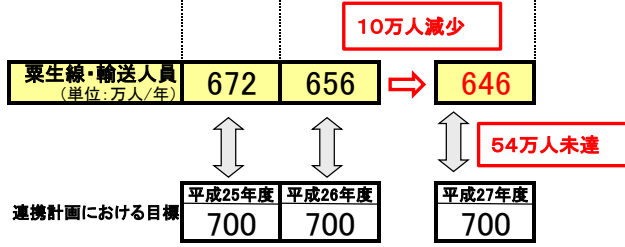


# 平成27年度の粟生線・全線における第1種輸送人員の対前年増減率等

(単位:%)

	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (4~3月)	平成27年度 (4月)	平成27年度 (5月)	平成27年度 (6月)	平成27年度 (7月)	平成27年度 (8月)	平成27年度 (9月)	平成27年度 (10月)	平成27年度 (11月)	平成27年度 (12月)	平成27年度 (1月)	平成27年度 (2月)	平成27年度 (3月)
<b>粟生線・定期外</b>	1.0	-0.9	-1.0	-1.1	20.5	-27.0	1.6	5.8	-13.1	5.2	1.7	3.1	-0.9	2.6	1.7
全線・定期外	0.3	-2.2	1.6	1.0	16.9	-1.9	1.6	3.8	-1.7	1.8	0.7	0.0	-3.1	0.5	-0.2
<b>粟生線・定期</b>	0.8	-3.2	-1.8	-9.9	-5.1	3.0	-3.0	-1.8	3.7	0.8	-1.9	-1.5	-0.4	-1.7	-3.0
通勤	-0.3	-0.6	-1.0	-4.9	-0.8	-0.4	-0.4	-0.7	0.8	1.5	-1.9	-0.7	-0.5	-0.9	-2.6
通学	2.1	-6.3	-2.9	-15.3	-9.4	7.3	-6.4	-3.2	7.3	0.0	-1.8	-2.6	-0.3	-2.9	-3.8
全線・定期	1.2	-1.5	-0.1	-4.7	-1.0	4.1	-0.3	-1.5	4.5	0.8	-0.7	-0.3	-0.3	-0.3	-1.6
通勤	0.8	0.2	-0.7	-4.1	-0.8	-0.6	-1.2	-1.9	2.7	0.9	-0.9	-0.2	-0.1	-0.2	-1.2
通学	2.0	-4.6	0.8	-5.7	-1.4	12.7	1.6	-0.7	7.8	0.5	-0.4	-0.6	-0.8	-0.7	-2.6
<b>粟生線・合計</b>	0.8	-2.5	-1.6	-7.3	2.4	-8.7	-1.5	0.7	-2.2	2.2	-0.7	0.1	-0.6	-0.3	-1.3
全線・合計	0.9	-1.8	0.5	-2.8	4.8	2.0	0.4	0.4	2.3	1.1	-0.3	-0.2	-1.3	0.0	-1.1



【対前年増減率に関する分析】

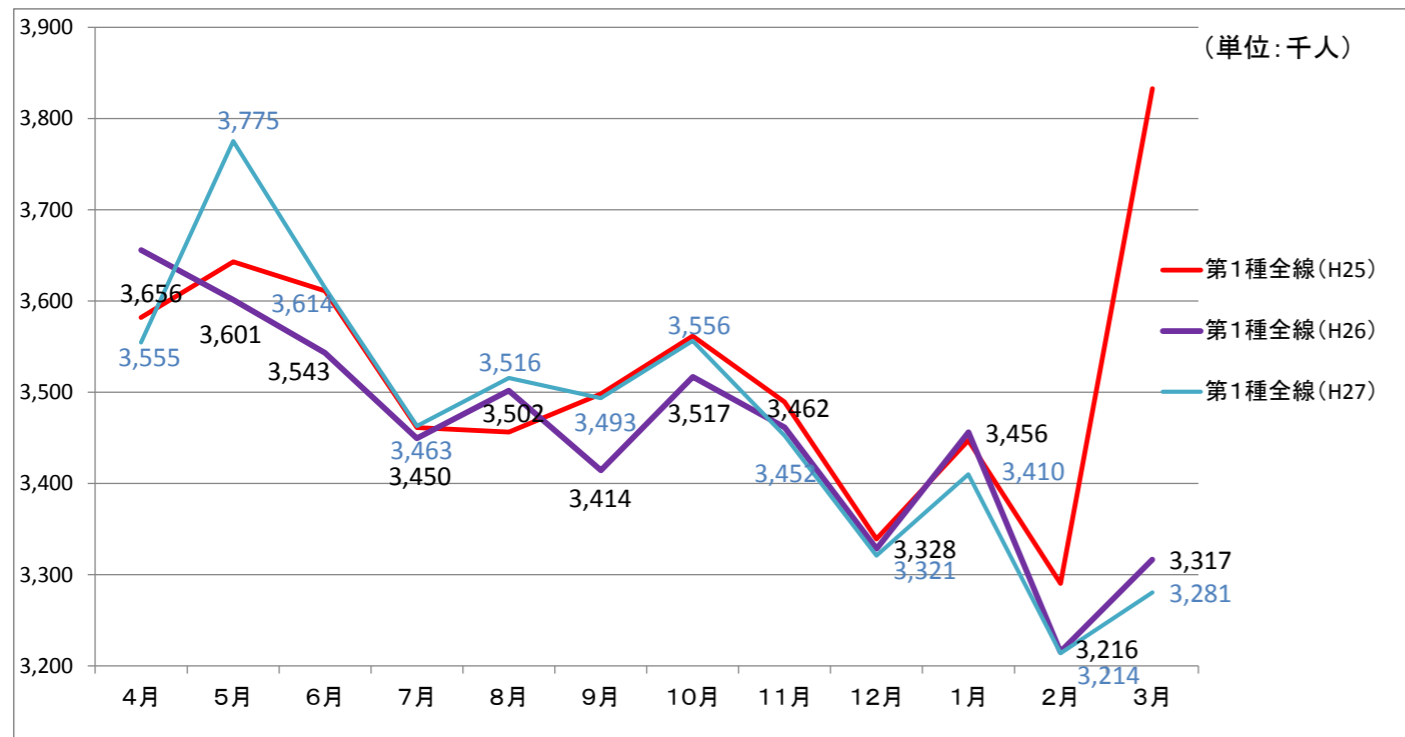
- ◆定期外は、回数券において前年消費税率改定に伴う先買いの反動増があったこと、行楽シーズンを中心に天候に恵まれたこと、有馬温泉を中心にインバウンド旅客が増加したこと、神戸市の「神鉄シーバスワン(10日間フリーバス、本年5月から発売)」による嵩上げがあった(但し、先買い需要が多く含まれる)こと等により、全線では堅調に推移したものの、粟生線では三木市の「神戸電鉄福祉バス(8日間フリーバス、昨年6・9月に計上)」が廃止された影響で減少となった。
- ◆定期は、前年消費税率改定の反動等特殊要因が大きく成績に影響しており、9・10月までの対前年増減は利用の実態を反映していない。一方、特殊要因がなくなった11月以降は、全線で通勤・通学ともに対前年比マイナスで推移しており、生産年齢人口の減少やガソリン価格の低下に伴うマイカー通勤への利用転移等が進行していると考えられる。

<特殊要因>

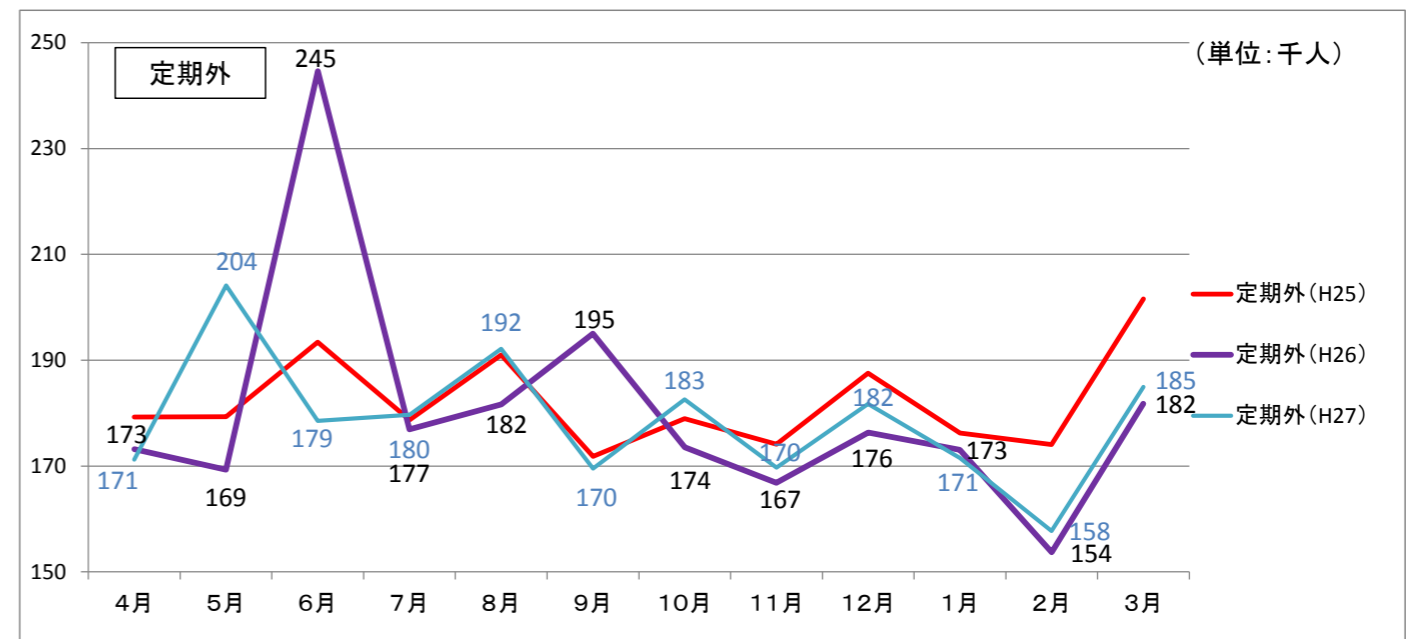
- 4・7月は、成績計上が1か月遅れとなる他社線連絡定期が、前年に先買いの影響で増加となっていたことの反動により減少。
- 6・9月は、前年に先買いの影響で減少となっていた(学期定期や3ヶ月定期⇒通年4~6月に計上していたものを前年は3~5月に計上。6ヶ月定期⇒通年4~9月に計上していたものを前年は3~8月に計上した)ことの反動により増加。

神戸電鉄粟生線・全線における第1種輸送人員の状況（平成25-27年度）

■全線合計



■粟生線券種別



■粟生線合計

